

第2次あきる野市総合計画 令和6年度進捗管理シートに対する総合計画審議会委員からの意見等(7.29事前資料送付後)

R7.8.7時点

【2 各施策の内容】進捗管理シートについて

| 番号 | 委員 | 対象となる章・節                           | 意見  | 類型       | 対応   | 【担当課】   | 各課回答   | 備考   |
|----|----|------------------------------------|---|----------|------|---------|--|--|
| 1  |    | 1-1-1-②「圏央道インターチェンジ周辺地区の土地利用転換の推進」 | 前回の同項目の私の意見と重なるようで恐縮なのですが、担当課からの事前回答には肯定的な受けとめをしていただけたと感じているのですが、R7年度の取り組みの文言に付け加えていただくことはやはり変えていただけませんか。例えば、「～今後市におけるまちづくりの方向性を示すとともに関係部局や市民との協議を行っていく予定である」など。もしくは、意見記載だけでもしていただけないでしょうか。厚かましいようですが、あきる野市の「市民との協働」に対する取り組みにおいて秋川高校跡地のことは非常に大切な機会になると考えており、市の前向きな姿勢を改めてお願いしたいところです。            | 質問<br>意見 | 各課確認 | 都市政策課   | 秋川高校跡地については、有識者会議において取りまとめられた提言書をもとに、今後、市におけるまちづくりの方向性を示すとともに関係部局との協議を行っていく予定です。また、市民との協働についても、今後の課題として捉えており、まずは第一歩として、意見募集やオープンハウス方式による意見聴取等を行う予定です。<br>進捗管理シートの令和7年度取組については、追記記載いたします。   | ⇒進捗管理シート修正<br>（事務局）進捗管理シートの「総合計画審議会からの意見」の記載は事務局側で案として掲載しています。最終的な要望項目の決定は、審議会場でされるので、記載希望の場合は、ご意見をいただければと思います。なお、各委員からいただいた意見は、要望への分類如何に関わらず、当日資料として委員名を伏せる形で市ホームページに公開します。 |
| 2  |    | 1-2-2-②「崖線の緑地の保全」                  | 野辺エリアで崖線上に廃車や廃屋が長年放置状態となっている。私有地か公有地なのか不明ですが、崖線の保全上問題だと感じる。   | 質問<br>意見 | 各課確認 | 環境政策課   | 環境政策課では、野辺地区に保存緑地として崖線緑地を1か所、所管していますが、廃車や廃屋が長年放置されている状態はなく、適切に維持・管理を行っています。  |  |
| 3  |    | 2-2-1-④「避難行動要支援者の支援体制づくりの推進」       | 視覚・聴覚・知的・肢体など多種の障がい者達ごとの不便さ、不自由さがある。それぞれの団体のヒアリングが必要ではないか（今年屋城小での防災訓練にスマホ充電器がなかった）。   | 質問<br>意見 | 各課確認 | 障がい者支援課 | 障害種別によって必要な支援は異なると認識しております。団体へのヒアリングについては必要に応じて実施を検討してまいります。   |  |
| 4  |    | 2-3-2「リサイクルシステムの充実」                | 青梅市では粗大ゴミを修理し、そこで家具を売って収益にしている。そういう場所や昔取った杵柄で生きがいを感じる高齢者も増えるのでは？  | 質問<br>意見 | 各課確認 | 生活環境課   | 粗大ごみのリユースについては、処理施設を構成市町村（日の出町・檜原村・奥多摩町）と合同で運営している関係から、あきる野市のみ意向で場所を開放できないという事情があります。また市の公共施設に粗大ごみを長期に置いておくことは、災害時の避難所等になる性格を有しているため難しいという事情があります。青梅市のようにリサイクルセンターを市単独で所有していない市町村については、同様の事情から取組が広がっていない状況です。ただ、西秋川衛生組合としてこれらの課題は共通していることから、処理施設内にこのような場を作れないか、今後他町村へご指摘のような課題があることについて共有し、売却の方法、商品を在庫している期間、スペースの管理や施設への人の出入り等について先行事例を研究していきます。<br>市としてはご指摘のとおり、修繕やリユース市場に戻すことについてもごみ減量に重要な意味があると考えており、令和7年度の環境フェスティバルにて利用可能な不要品を回収し、リユースを手がける企業に売却するなどの事業を始めました。今後もリユースや修繕がごみ減量のキーワードになると受け止め、令和7年度事業の効果を測定し、新規事業を検討していきます。 |  |
| 5  |    | 3-2-1-⑦「非核平和都市宣言の発信」               | シート2にも書かせていただきます。HPには「市自らが、戦争の悲劇を繰り返さず、核兵器の廃絶と世界の平和を訴え続ける必要がある」ともありますので、宣言をした後どのように発信（活用）していくかも含まれていると考えます。他市では普及啓発のために立派な掲示物があるところもあるようです。市役所のロビーで行われた「あきる野市平和パネル展」でも掲示されていました。何も市が全部背負う必要はありません。市内には、平和都市宣言を好意的に受け止め、市民の力でカタチあるものにしようと企画を行っている団体もあります。市民がこんな風に大切にしているのだと発信することはどこかでできないでしょうか。 | 質問<br>意見 | 各課確認 | 企画政策課   | シート1でも回答させていただきましたが、本総合計画で記載している「非核平和都市宣言の発信」とは、非核平和都市宣言を行い、その事実を市ホームページ等で公開することを意図しています。今後の発信方法については、後期基本計画策定に合わせて検討いたします。  |  |
| 6  |    | 3-3-1-②「ごみ減量化の推進」                  | シート2の12番の自分の意見への回答に関してなのですが、ぜひ、R7年度の取り組みにも出前授業のことを書いていただければ幸いです。  | 質問<br>意見 | 各課確認 | 生活環境課   | 令和7年度取組に出前授業について追記します。<br>補足にはなりますが、夏休みの自由研究向けに親子を対象とした生ごみ堆肥化講習会や、夏休み期間のごみ処理施設見学会などを令和6年から継続して実施しています。（令和7年も7月下旬にそれぞれ実施済みです。）ご指摘のとおり、子どもの意識が高まれば、家庭全体の意識が高まりひいては市民全体の意識向上に繋がることから、10年後のあきる野のごみ減量にも繋がる意識をもって事業を実施しています。   | ⇒進捗管理シート修正   |
| 7  |    | 6-4-1-④「市民組織・ボランティア組織の活動環境の整備」     | 市役所1階に市民用の掲示板のを要望します。<br>各種団体の活動やポスターを掲示できるスペースがあると良いです。<br>公民館や図書館には掲示できますが、役所はより多様な市民が利用するため、情報が届く範囲が広がると考えます。  | 質問<br>意見 | 各課確認 | 総務課     | 限られたスペースであり、また運用についても検討する必要があることから、近隣自治体の状況を把握する等、調査研究してまいります。   |  |
| 8  |    | 6-4-2-②「広報の充実」                     | 定例議会のライブインターネット配信を希望します。議場に向かずとも議会を視聴出来る環境にすることで、市民の市政の理解向上、議員の意識向上につながると考えます。  | 質問<br>意見 | 各課確認 | 議会事務局   | 現在、本市議会では定例議会のライブインターネット配信を実施しておりませんが、市民に開かれた議会を目指し、本会議の開催日には、市役所1階のテレビで本会議の様子をライブ中継するとともに、市ホームページにおいて、録画配信等も行っております。また、市民の皆様に市議会の活動内容等を理解いただき、関心を持っていただくため、市議会の活動等の情報発信について検討しております。ご提案いただきましたライブインターネット配信の活用につきましても、今後、検討していく中で参考とさせていただきます。   |  |

| その他 |    |                               |  |     |      |                          |      |    |
|-----|----|-------------------------------|--|-----|------|--------------------------|------|----|
| 番号  | 委員 | 対象となる章・節                      | 意見   | 類型  | 対応   | 【担当課】                    | 各課回答 | 備考 |
| 1   |    | 3-1-1-⑤「各種団体の支援」              | 地域コミュニティ活性化のため市内で活動している多様な団体の支援（協働と言ってもよいと思います）については現時点でも担当課が4つもあり、取り組みを評価します。ただそうであるならば、例えば学校のPTA、色々と取り組んでいる青少健、新しく始まっている地域学校協働本部、子ども食堂なども、地域コミュニティの活性化に関わる団体だと考えられます。まだ他にもあるかもしれません。増えるほど煩雑になってしまうかもしれませんが、明記することで意識がかわり、行政と市民の協働による地域コミュニティに活性化がより図れるのではないかと考えます。   | その他 | 情報共有 | 地域防災課・商工振興課・環境政策課・高齢者支援課 |      |    |
| 2   |    | 3-1-2-①「外国人にやさしいまちづくりの推進」     | あきる野市のような人口や予算規模で、さまざまな言語の外国人に対して対応していたら、予算も人でも足りないと思います。<br>基本的に、住むのであれば、ある程度その国の言語に対応してもらってから住んでもらうことが基本だと思います。優しければいいのではなく、日本やあきる野の文化を守る人を増やしていくならば良いですが、他の自治体のようにある地域の外国人がコミュニティを作って、そこに日本人が入れないような場所ができてしまうなどとなってしまうと、治安も悪化するし、犯罪も増加する可能性があります。実際には海外では移民政策でそのような事例が多発しているようです。せめて、旅行者でも英語のみにするとかで十分かと思います。   | その他 | 情報共有 | 企画政策課                    |      |    |
| 3   |    | 3-2-4-②「平和を学ぶ取組の推進」           | 平和に問題があると思っている市民はいません。<br>それでも現在でも世界では戦争は起こっています。その市民が戦争をしたいわけではありません。その市民も戦争は早く収まってほしいと思っています。<br>平和を推進するためにはなぜ戦争が起こっているのか（例えばどうして日本はアメリカと戦争を始めたのか）、その検証が実はあまり行われておりません。<br>平和を維持するには戦争の検証を行い、どのようにしたら戦争が起こらないのかを検討することが大切だと思います。<br>戦争は悲惨だからやらないほうがいいという発信、などでは、戦争が無くならないと思います。<br>8月15日の黙祷もどのような想いで黙祷を行うのかなどを市長から発信する必要があるのではないのでしょうか？<br>黙祷をするだけで平和を学ぶ市の取り組みとは言えないと思います。 | その他 | 情報共有 | 企画政策課<br>総務課             |      |    |
| 4   |    | 3-3-3-①「国や東京都と連携した地球温暖化対策の推進」 | 二酸化炭素の排出を減らす必要があるのでしょうか？<br>地球上で出ている二酸化炭素のうち人間が排出しているのは5%弱で、そのうち日本で排出しているのは3%程度に過ぎません。全体の0.13%程度です。あきる野市で排出しているのは人口比で見ても0.0001%程度と考えられ、それを半分にしたところで、アメリカや中国など多く二酸化炭素を排出している国は、抑制政策をとっていません。<br>私たちの努力は全く意味がないものとなります。  | その他 | 情報共有 | 環境政策課                    |      |    |